

百年の森林に囲まれた 快適で人が輝く 自然と交流のむら ”西栗倉村”

広報 にしあわくら

1

2014(平成26年)
No.608



手作りお飾いで 新年を迎えます

● 今月号の広報

- 村長・議長あいさつ・・・・・・・・・・ 2～3
- 年男・年女 今年の抱負・・・・・・・・ 4～5
- 新田選手ソチに向けて・・・・・・ 6
- E Vがやってきた・・・・・・・・・・ 7

ほか



【ほほえみ会 しめ縄作り】

平成25年12月20日(金)



美作国建国1300年

村のホームページ <http://ns.vill.nishiawakura.okayama.jp/>

平成26年の新春 あけましておめでとーいございます



西粟倉村長 青木 秀樹

明けましておめでとうございます。
今年が、皆様の健やかなる一年となりますように心からお祈り申し上げます。

政府、日銀による金融政策で長期デフレ傾向からの脱却に向け、少し明るさを取り戻しつつある日本経済です。円高是正の動きが産業界には追い風となり、また6年後には東京オリンピックの開催が決まったことで、経済復興の期待感も高まってきているのを感じます。

昭和39年の東京オリンピック開催を契機に日本社会は経済の高度成長路線に乗り、村の経済も活性化し、公共事業を始め工業、商業そして農業、林業、すべての産業が勢いづいていた時代がありました。以後、日本中に現在の基礎となるインフラ整備が展開されていったのですが、思い返せばそれ

からちょうど半世紀にもなる計算です。人間でいえば50歳。誰によらず体力の衰え、健康問題も気になり始める頃でしょうか。

皆さんにご愛用いただいている村の施設もそれぞれ老朽化が進み、順次更新の時期を迎えることとなります。今年度は昭和41年から稼働してきた坂根の水力発電を新しくすることができました。折しも「環境モデル都市」への認定が叶い、モデル事業としての優先性や再生可能エネルギーとしての優遇性も認められることとなり、また将来へ引き継ぐ有望な事業となりました。つぎは役場庁舎周辺を計画にあげ、次の時代にふさわしい「木の村」としての内容を反映したものにすべく準備に入ることになります。

鳥取自動車道路が開通しました。「にしあわくらインターチェンジ」がどの程度利用されるかは周辺市町村も含め大きな関心事となっていました。結果は通行車両のうち概ね20%～25%の乗降率を維持しています。「全く素通り」といった心配は杞憂となりました。むしろ通行台数の増加が明らかですから、今後はインターチェンジ周辺のサービスエリア機能の

充実と、目的地としての更なる「村の魅力づくり」が課題となります。村にもともと在る地域資源のほか「百年の森林構想」、「環境モデル都市構想」、「森の学校事業」、「木薫」、「木工房ようび」などモデル性が高く、また知名度が上がり交流人口の増加に一役買ってくれているのはありがたいことです。

歴史的な経過から考えて村のあり方を特徴づけているのは「人の交流」です。作州、因州、播州文化の影響をそれぞれ色濃く受け、どの文化にも染まりながら、決して染まり切らないところ、それがこの村の特長だと思います。「したたか、しなやか」あるいは「熱しやく、冷めやすい」と表現されたことも儘あります。おそらく順応性はあるけれども同化はしないということだと思います。そうだとすれば観光交流事業はむしろ宿命といっているかもしれません。これを村の主産業と捉えること、また全村を挙げてこれに真正面から取り組むことがこれからの村づくりの大きな目標になります。「湯の里・木の村・雪の国」村の特質である（上質な田舎）の原点はホスピタリティー（おもてなしの心）にあります。村が永く存続できた本当の理由がここにあると考えて

います。さらに将来、村が発展し、存続し続けていくための究極の理念はやはりホスピタリティー（おもてなしの心）なのではないでしょうか。

さて、過疎化、少子高齢化の波はまだ続きます。長寿は人生の目標でもありますから、高齢世代をいかに生きるかが重要です。先のことを考え、不安に駆られる方も多いと思います。特に独り世帯の方はなおさらです。いままで村を支えてこられた方々に、安心してこの村に住み続けていただける仕組みを今年は提案したいと思っています。





新年あけましておめでとうございます。本年も村民皆様にとつて希望に満ちた、より良い年でありますよう心からご祈念申し上げますと共になんといいても健康あつての賜物でございます。充分体には留意して今年一年も過ごしていただきたく願っております。

さて昨年、国内の出来事を少し振り返って見ますと、毎年47都道府県（市町村）どこかで起こりうる天変地異、地球温暖化による異常気象が要因の一つであるとも言われていますが、実際の事実関係はまだ解明されていません。このどこかで起こりうる災害を踏まえ、見ても近年、私達の村に隣接し



西栗倉村議長
金田 豊治

ている、美作市、佐用町でも水害、そして竜巻と大きな被害が出ました。私達の村はたまたま大きな被害はまぬがれましたが、それを対岸の火事と言う意識はもつてのほかです。私達の村でも過去に昭和38年の大水害にみまわれてから半世紀の節目になる年です。災害は忘れた頃にやってくるという言葉があるように、常に防災に対する意識の昂揚は持ちつづけて行かなければならないと思います。もう一点災害と言う言葉で忘れてはならないのが3年前になる100年に一度1000年に一度と言われた、未曾有の出来事でもある東日本大震災でしょう。未だ福島県では14万人の避難住民が仮設住宅や借り上げ住宅での生活が続いています。原発事故による放射能汚染での全員帰還もままならない厳しい現状をつきつけられています。国、東電の事故対応のまずさに多くの被災された人々が未だ苦しんでいる現状を目の当たりにすると、腹立たしさを覚えざるをえません。一刻も早い復旧、復興を願っております。

そして次にあげるのは、なんと言っても9月7日にIOC総会において、2020年夏季オリンピック開催都市決定した東京が1964年以来56年ぶりに2回目となる開催地に選出されたことでしょう。日本にとって50年前のオリンピックは戦後、日本が復興を

果たした象徴として海外に知らしめたイベントであり先進国の仲間入り途中の国としての成熟期でもあったと思います。そして今回、7年先のオリンピックは成長した日本を海外に誇示するビッグイベントに成ることを願うと共に東京だけの経済浮揚にとどまらないよう地方にも恩恵があることを望むところです。

まだある国民の関心事と言えば中国、韓国との領土問題、そして11月に中国が強引に設定した防空識別圏の問題、12月に国会において与党が強引に可決した特定秘密保護法案（日本版NSC）の問題。表現の自由を脅かすものと国民の中でも危惧する人々が多いようです。以上国内でも数々の難題を抱えている現状です。今年、我国の対応を注視していきたいと思っています。

そして、私たちの村の昨年をふりかえってみますと、新しい交流人口拡大のスタートとして昨年3月23日に全線開通した鳥取自動車道でしょう。この開通により鳥取や京阪神への利便性が良くなり特に鳥取市が私達の村にとつて今や生活圏の一部であります。そしてこの自動車道を利用される方は年間100万とも言われています。京阪神と鳥取市のほぼ中間点になりうる村にとつてただの通過点にならないよう観光事業に対してさらなる知恵を結集していかなければ

ばならないと思います。

そしてもう一点あげるなら全国的にも取得が困難と言われる中国地方では初めて選定された環境モデル都市ではないでしょうか。今、世界的にも問題になっている地球温暖化対策に自立的に取り組み低炭素社会の構築を進めることが求められる今日、高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市を国が選定したものだそうです。この選定を受けられた背景には先人の環境に対する高い意識の賜物だと私は思っております。今後も上質な田舎をより一層深めなければならぬと思います。

さて、最後に私達議会としては、初となるゲートボール役員さんとの懇談会を開催しました。初めての試みでしたが、役員さんとのやりとりにおいて私達議員も大変よい勉強になったと思います。

今年の議会としては昨年しなればいけないかった地区役員さんとの意見交換を是非試みたいと思います。また各種役員さんとの懇談も視野に入れておりますので、ご協力のほど宜しくお願いいたします。私達議員に求められていることは議員一人一人の資質向上こそが私達最大の使命でもあるチェック機能の向上であると感じております。今後も議会に対してのご理解とご協力をお願いして、新年のご挨拶にかえさせていただきます。

2014 年の 年男・年女のみなさん、 今年の抱負を語る!!



たてもと 建元
きわこ 喜和子さん（筏津）
昭和17年生まれ

明けましておめでとうござい
す。

西栗倉に嫁いで47年。家族や周
りの方の支えにより6回目の午年
を迎えることができました。

今年も野菜づくりを楽しみなが
ら、老人クラブの会等にも出来る
だけ参加していきたいと思いま
す。

皆様にとっても良い年となりま
すようお願いいたします。



おかもと よしみ
岡元 好美さん（知社）
昭和29年生まれ

明けましておめでとうございま
す。

昨年、県交登山が5回開催され
たうち、2回参加することがで
き、少ないチャンスでしたが、多
くのことを勉強させていただきま
した。

趣味の山野草写真を楽しみなが
ら健康管理と趣味を融合させ、節
目の年にふれあいを大切に充実し
た日々を過ごしたいと思っています。



きしもと なおあき
岸本 直明さん（大茅）
昭和53年生まれ

新年明けましておめでとうござ
います。

今年は年男として、何事にも
チャレンジし、昨年以上に充実し
た年になるよう努力していきたい
と思います。また、家族が健康で
笑顔の絶えない一年にしたいと思
います。

皆様にとりましても明るい年に
なりますようお願いいたします。



きりやま たくみ
桐山 拓海さん（中土居住宅）
平成14年生まれ

今年、ばくががんばりたい事は、
西栗倉の良さを人から人へ伝える
ことです。100年の森林こうそうや、
あいさつ運動など西栗倉には人を
元気にする活動があります。
その活動を広めれば、相手が元
気になり、元気になった人を見て、
ばくたちも元気になっていく。
そんなつながりのために、西栗
倉の良さを伝えたいです。

二〇一四年『午年』のスタートです。

午は馬にあたる干支で、馬は古くか
ら人間と深い関係がある大切な動物
で、『幸運が駆け込んで来る』『もの事
がウマくいく』などと言われて、縁起
のいい動物とされています。

馬は、穏やかで忠誠心が強く、昔か
ら人々の暮らしに寄り添ってきまし
た。



午年の特徴は、だれとでもオープンにつき合うことができ、リーダーシップをとっていけるタイプであったり、また負けず嫌いなため、人に後れをとることを嫌う面もあるそうです。



つねお 恒夫さん (中土居)
昭和5年生まれ

7回目の午年を皆様方と共に迎えられた事に幸せを感じます。

臓器摘出の大手術、皆様の励ましによりあれから3年余の自分がある事を感謝しています。これからの人生を前向きに健康管理と閉じこもりなく交流の輪を心掛け、自分なりに楽しく笑える1年にしたいと思います。

皆様の健康と御多幸をお祈りいたします。

新年明けましておめでとうございます。
人情にあふれ、緑豊かなこの西栗倉で多くの皆様方に支えて頂

ながら4回目の年男を迎えることができましたことに感謝致しております。これからグローバル化が進展し、生活スタイルが変化していく中で美しい山々と清らかな水が身近にある故郷が後世に受け継がれる事を願っています。本年も皆様方のご健康とご多幸をお祈り致します。



みちあき 道明さん (別府住宅)
昭和41年生まれ



たく 拓さん (別府住宅)
平成2年生まれ

新年、明けましておめでとうございます。
昨年、明けておめでた

ふれ、自分が恵まれている事を実感しました。

今年はみなさんへの感謝の気持ちを大切に、また心にゆとりをもつて、充実した日々を送れるように頑張りたいと思います。そして、新しい可能性を見つけて成長できる年にしたいです。

あけましておめでとうございます。

私は今年、小学校最高学年の6年生になります。委員会やクラブなどのリーダー、あいさつタッチを広めること、それに西栗倉のことをもっと学び森を大切にするなどがんばりたいです。

そして、何事にも挑戦し、あきらめずに努力していきたいです。



はやし 央華さん (中土居)
平成14年生まれ

ソチ冬季パラリンピックスキー距離日本代表内定 新田佳浩選手を応援しよう!!

来年3月に開催されるソチパラリンピックのスキー距離日本代表に内定している新田佳浩選手。ソチで5大会連続パラリンピック出場となります。

今月号は、12月からのシーズン開幕を前に帰村した新田選手に、西栗倉への思いや競技に対する思いなどを語っていただきました。

ソチパラリンピック出場内定おめでとうございます。

●6月13日に西栗倉小学校で小中学生へ講演をしていただきました。新田選手からは西栗倉の人たちや身近な人たちに育ててもらったことへの感謝の気持ちや一生懸命がんばること、いろんな事に挑戦することの大切さなどを教えていただきました。「がんばれば夢は叶う!」を子どもたちに見せてくれる新田選手の姿は子どもたちにとってまさに“あこがれの人”です。子どもたちに講演をしていかがでしたか?

「子どものたちの目の輝きがすごかった。真剣に話を聞いてくれ、後日もらった子どもたちからの感想を全部読ませてもらい、「私も夢に向かってがんばりたい」など講演で自分が伝えたいことが伝わっていてうれしい。あいさつタッチをして子どもたちから元氣をもらい、車で帰るときも最後までバイバイをしてくれたことはすごくうれしかった。」

この講演後すぐに出場内定のうれしいニュースが入ってきました。

●今大会で5回連続の出場!!

新田選手の強さの源は?

「**思い!!** 負けたくない。当たり前だけどメダルをとりたいという強い思いが自分を支えていると思う。そして、相手を思う「思い」もだ。勝てたら自分もうれしいけど、色々な人が喜んでくれるだろうと思う思いも大きい。長くやれることはありがたい。この年になると、自分の残せるものとは考え、次世代ががんばれる土台作り(ジュニア育成)を大切にやっていきたい。」

◆◆パラリンピックまでの予定◆◆

- ・11月 フィンランド合宿
- ・12月10日～18日 ワールドカップカナダ大会
- ・1月8日～12日 ワールドカップフィンランド大会
- ・1月16日～26日 ワールドカップドイツ大会
- ・2月上旬 北海道旭川大会
- ・2月12日～ 事前合宿に出発し、そのままソチへ

◆◆ソチ冬季パラリンピック◆◆

平成26年3月7日～16日

※来月号はソチパラリンピック開幕直前情報をお知らせします。

→講演会での西小児童とあいさつタッチ



●前回のバンクーバーから4年。

新田選手にとって長かった?短かった?

「この4年間、色々あったがようやくバンクーバーの時の負けたくない気持ちになってきた。前までは祖父にメダルをかけたいという思いが強かった。去年祖父が亡くなって目標を失いかけていた時があった。しかし、原点はここ!! 家族だ。長男、次男が生まれ、家族も増えた。子どもたちのため、そして、新田家という家族だけでなく、西栗倉という家族があったからこそがんばろうと思えるようになってきた。」

新田選手と長男大翔くん(3歳) ↓

近況

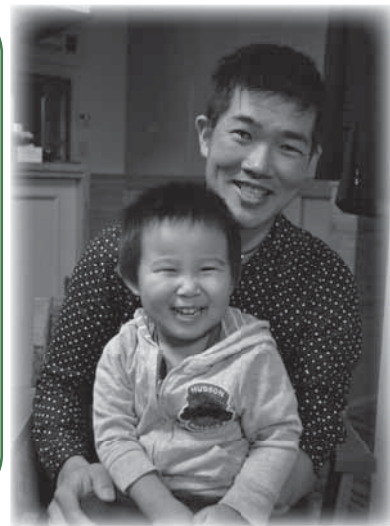
第1戦カナダ大会3日目 **5位**

▼新田佳浩選手コメント

ソチ本番で狙っている種目だったので、この結果は非常に悔しい気持ち強い。

今シーズン、ペースを落とさないように意識してトレーニングしてきた事が出せなかったのは今後の課題だ。今日のレースでペースが落ちたのは、疲れた時にフォームがバラバラになってしまった事が原因なので、苦しい中でも技術的な部分をしっかりと出せるように意識して、ソチに臨みたい。

(日立ソリューションズHPより)



【**新田佳浩選手** (塩谷地区出身)]

小学校3年から距離スキーを始め、パラリンピック初出場は林野高校2年の1998年長野大会。筑波大3年の02年ソルトレークシティ大会で銅メダル。前回のバンクーバー大会は日本選手団主将もつとめ、2つの金メダルを獲得した。

地球環境にやさしい EV（電気自動車）がやってきた!!

西粟倉村は、平成25年5月に国より中国地方では唯一「環境モデル都市」として選定され、現在、低炭素な村づくりを目指して小水力発電所改修工事や村民参加型太陽光発電所など再生可能エネルギーを積極的に導入しています。

そして、環境性能に優れたEV（電気自動車）の村内導入は地域低炭素化に効果を期待するものであり、今後数台の導入の計画しています。

この度、その第一歩として西日本三菱自動車販売（株）から軽トラとハコバンの2台を無償レンタル、日産自動車株式会社から日産リーフを1台無償提供して頂きました。

EVとは、Electric Vehicleの略で、日本語では電気自動車と言います。

近年、資源制約や環境問題への関心の高まりを背景に、電気自動車が注目を集めています。ガソリン自動車はガソリンをエンジンで燃焼させ、車を駆動させるのに対して、電気自動車は電動モーターで車を駆動させます。走行中にCO₂や排気ガスを出さないため、地球環境問題（大気汚染防止）に役立ちます。また、ガソリン自動車と異なり、ガソリンをエンジンで燃焼・爆発させないため、走行中とても静かです。

◆三菱自動車◆ 「引き渡し式と村民対象試乗会」（12月3日）



ミニキャブミューブ・トラック（軽トラ）とミニキャブ・ミューブ（ハコバン）

平成26年3月までの無償レンタル期間中に「村民対象試乗会と雪道走行実験」を実施します。日程が決まり次第ご案内します。

◆日産自動車◆ 道の駅あわくらんどEV&LEAF to Home設置式（12月15日）



EVパワーステーション

日産リーフと家庭用大容量バッテリー（LEAF to Home）のセットを無償で頂きました。

LEAF to Homeとは、専用のEVパワーステーションを設置することで、リーフを家庭用の電源として使えます。災害時は道の駅で24時間、道路情報や気象情報提供用モニターの電源や、個人の通信機器（スマートフォンなど）の充電を可能にする非常電源として利用します。





子どもたちのために



今から取り組んでいきたい事

小中、就学前グループのワークショップでは前回話した「子どもたちの目指したい姿」の実現に向けてのようなができるか話し合いました。

私たちにできること

こんなことから

- 家族みんなで食事を
その中で会話やしつけを！
- 一緒に過ごす時間を
少しでも多く。
- 親が色々なことに関心を持ち
色々なことに参加しよう。
- 手を出したくても、
じーっと我慢
- 怒るのではなく、叱ろう。
- 話そう。ほめよう。
- 手伝いをさせよう。一緒に本を
読もう。一緒に勉強しよう。
- 何気ない暮らしの中での積み重
ねが、子どもたちの将来の力に大
きく影響することを話し合いの中
で確認できました。



子どもたちは
学校園で集団
生活を通じて、
色々なことを学
んでいます。

教科の学習だけでなく、様々な
取り組みを通じて、人との関わり
や自分の考えをまとめたり、伝え
たりしながら生きる力を育んでい
ます。学校での取り組みや活動に
ついては、日頃からの保護者、学
校の関わりが良好に保たれている
事を感じた話し合いでした。

こんな事できたらいいな

- 部活の選択肢を増やすために他
校との交流ができないか。
- 他校との交流、遠いところも近
いところもできるといい。全員参
加できるといい。
- 西栗倉村型一貫教育の推進。



地域の皆さん
は、色々な場面
で子どもたちに
関わっていただ
いています。

子どもたちは、親や祖父母などと
は違う地域の人からの声かけや関
わりによって、様々なことを学ん
でいます。関わり方は人それぞれ。
皆さんにできるやり方で、少しず
つでも子どもたちに関わってほし
い。このようなことが話されまし
た。

少しずつでも子どもたちに 関わってください

- 声かけ、見守り、あいさつは立
派な関わりです。
- 学校支援ボランティア、校庭の
草取り、工作、野菜づくりの指導
など子どもたちと楽しみながら活
動しませんか？
- 参観日などに来て、学校での子
どもたちの姿を見てください。
- 地域の活動に子どもたちを参加
させてください。
- 地域のかっこいい大人の姿見せ
てください。



子育ての第一
は親。基本的な
しつけ、道徳観
は親、親が思い
やりある姿を見
せることで子どももそのように
育っていく。親がまず見本を見せ
るべきだと話されました。

勉強、スポーツ、地域活動への
参加など、子どもたちに身につけ
てほしい力を育むためには、親の
関わりが大切なのは言うまでもあ
りません。

子どもたちの目指したい姿を実
現するために、親の育ちの大切さ
がワークショップでは多く話され
ました。

村

村はしっかり
予算を確保して
子どもたちの成
長を支えていく
べき、村にしか
できないことをし
っかり行っ
てほしいとの意
見をいただきました。

こんな事できたらいいな

- ぼんぼこ園にも給食を！
- 古くなった施設を新しくするときには総合的なみんなが集える施設に（図書館、ぼんぼこ園、幼稚園、げんきっこ、公園などの活動スペース、役場など）
- 村民運動会復活
- 小さな子どもから大人まで取り組むことができるスポーツの取り組み（なわとびなど）
- 広い広場、公園が欲しい。
- ウォーキングをしてポイントがたまったら、温泉が半額になるなど、運動と施設利用が連動したような取り組み
- 何かみんなで行えることを（異世代交流）
- 高校通学、大原までの便が実現できないか。

生涯学習に関わる人が



もっと増えていくために

生涯学習グループワークショップでは、第1回目で「西栗倉での生涯学習って何だろう」を考えました。

これまでの取り組みから、自身のこととして生涯学習に取り組むと

「楽しみや生きがいを持ち、健康に笑顔で暮らす人」になれる事が分かりました。また、生涯学習に取り組む事で、

「自分のやりたい事を一生懸命やる事が人や地域、村のためになる」ことも分かりました。

村の中にこのような人が増えてくれればいいなと思います。第2回はこうしたら、もっと取り組む事が出来るかなどを中心に話を進めました。

① 人材確保

新しい人、若い人、リーダーなどが不足している。取り組み活

化していくためには、大学や高校などとも連携する事、きっかけ作りが必要。

② 伝え方

きっかけを持つためには、情報発信が必要。活動の内容や成果を広報などを通じて知らせる事や、みまチャンネルのようなケーブ

③ 地区活動

身近に集まれる地区という単位は生涯学習の上でも大きな役割を果たしている。祭りや地区サロンなど発展させていく必要がある。

④ 村

多世代が集まれる活動の場を設けていくことが大切。

現在行われているふれあいまつり、夏祭り、元気の出るスポーツ大会、あわくら大学に加え、以前行っていた村民運動会なども活動

の場としては有効。

⑤ 交流の場、生涯学習の場

よりみちなど、人が集まれる場所があることが大切。よりみちと図書館の連携なども生涯学習を進めるために有効。

現在、活動の拠点となっているあわくら会館については、位置は良いが上り下りも有り使い勝手が悪い。造りを変えて、木を使った落ち着いた雰囲気をつどいの場にして欲しい。



幼稚園だより

12月7日（土）にあわくら会館大ホールで“楽しい発表会”を行いました。子どもたちは劇や踊り、合奏や歌などの練習に毎日楽しみながら取り組んできました。発表会当日はお家の方をはじめ、たくさんの方が子どもたちの姿を温かく見守って下さり、盛大な拍手を下さいました。ありがとうございました。

今年のオープニングは全園児で英語の発表。
Hello Songを歌ったり、年長児は西
栗倉の自然や生き物などの英単語を発表しまし
た。



くま組・劇
「大きなかぶ」
みんなで元気いっぱい演じる事が出来ました！！

うさぎ組・劇
「おおかみと7匹のこやぎ」
初めての発表会！楽しみながら行う事が出来ま
した。

ぞう組・劇
「王様の耳はロバの耳」
一人ひとりが役になりきって演じる事が出来ま
した！さすがぞう組です☆



小学校だより

【人権週間の取り組み】

西栗倉小学校では、十一月二十五日（月）から十二月六日（金）まで人権週間として、様々な行事に取り組み、人権意識を高めることができました。

◆あいあい標語

児童会の子ども達が全校児童に「元気・笑顔・仲良し」や「ありがとう」に関する標語を募集しました。全校児童が取り組み、相手の気持ちを思いやる標語ができていました。

- 気持ちよく げん気にあいさつ うれしいな
一年 おぐら あいと
- あいさつを たくさんおくらう 自分から
二年 いのうえ たいが
- なくそうよ いやな思いや けんかをね
三年 横山 日菜
- やさしさは 人の心を うごかせる
四年 小林 万由加
- あいさつは みんなの気持ち とどけるよ
五年 小松 依舞
- あいさつで どんどん広がる みんなの輪
六年 豊福 朔矢

◆いいことみっキノコ

児童会が全校児童に呼びかけて、友だちの良いところや普段は言えない感謝の気持ちをカードに書きました。カードの終わりには「○きのこ」ときのこの名前を書くところがあり、ユニークな名前のものもありました。廊下に設置されたポストにはいつもカードがたくさん入っていました。

- ももさんへ
いつもやさしくしてくれてありがとう
(れおんより)
- ゆうきさんへ
みんなのたいいくかんシューズをそろえてあげてすごいね
(ももより)
- だいちさんへ
いつも勉強をがんばっているね
(らくより)
- しょうきさんへ
いつもみんなを笑わせてくれてありがとう
(だいすけより)
- あいさんへ
そうじの係を自分からすすんでしてくれてありがとう
(こゆきより)
- りょうたさんへ
児童長として意見を出したり、まとめ役をしてくれてありがとう (はなより)

◆人権擁護委員の方と一緒に

今年度は、人権週間が始まる前に人権擁護委員の方と一緒にDVDを鑑賞しました。障害のある子に対して周りの人がどのように意識をもち、関わるべきかを考えさせられる作品でした。子ども達は、最後まで真剣に鑑賞し、擁護委員の方の前で感想を発表していました。

◆人権集会

いじめや仲間はずれをなくして、人を大切にする心を育てることをねらいとして、人権集会が行われました。各学年で人権について話し合ったことを、劇や歌などの出し物で表現していました。集会は、各学年の発表だけでなく、全員参加のじゃんけんタッチ列車や「ありがとう」の歌を全校で歌いました。どの学年もよく考えられていて、心があたたまる集会となりました。



中学校だより

食を通した 心と体の健康づくり



いつもおいしい給食ありがとうございます。

◇12月13日に栄養教諭の住岡章子先生にきていただき、「食に関する授業」をしていただきました。

「食べることは生きること。未来を変えること。」
成長期の大切な時期にバランスのとれた食事をとることの大切さをみんなで学びました。

中学生の君たちへ
～なぜ食べるのか？
どう食べるのかを
考えよう～

菊の栽培終了

秋に校長先生の指導の下、
輪台を取り付けました。



萩原教育長さん、
お世話をしてくださりありがと
うございました。

○3年生が植え付け、2年生が
水やりをし輪台を取り付けた大
輪の菊も終わりを迎えました。
教育委員会で預かっていたい
鉢を受け取りに行き、学校
の玄関で長い間見事に咲いて
いた菊と一緒に片付けをしまし
た。来年までしばらくお休みで
す。

「自分たちで創る授業」に取り組んでいます



1年生は期末テストの
復習を自分たちでして
います。

<2年生 社会科の授業>
各グループで調べた中部地方
の自然について説明していま
す。「質問はありませんか？」



<3年生 理科の授業>
「太陽系の仲間たち」に
ついて調べました。

学び合い学習



子ども館だより

お問い合わせは
子ども館 279-2566
教育委員会 279-2216

たくさんの笑顔、今年も届けます



あけまして
おめでとう
ございます

今年も子ども館は子どもたちの元気いっぱいの明るい笑顔でスタートできそうです。西栗倉の宝「子どもたち」の健やかな成長のお手伝いができたらと、子ども館スタッフ一同、今年も精一杯がんばってまいりますのでよろしくお願いします。



書館へ行こう！！

今月の新着本

一般書

- ・『原発ホワイトアウト』
- ・『空想科学読本 14』

若杉洸／著
柳田理科雄／著

児童書

- ・『ひみつの島の宝物』
- ・『ぐるぐるちゃんとふわふわちゃん』

ロン・ロイ／作
長江青／作

☆☆お知らせ☆☆

県立図書館の配本について

12月3日に岡山県立図書館に本の入れ替えにいたしました。実用書を中心に、児童書、小説本など計800冊の入れ替えを行っていますので、ぜひご覧下さい。

今月のおすすめ本

『読書で身につく!算数のお話』

中田寿幸／作

算数嫌いは「読書」でなおす!算数がいっきにおもしろくなる!26のお話。小学校中・高学年向き。

『探偵部への挑戦状』

東川篤哉／著

鯉ヶ窪学園探偵部副部長・霧ヶ峰涼と、多摩川探偵部部長をはじめとするお気楽三人組の部員が総登場。学園の秋から冬、その周辺に起きる愉快的な驚愕。七つの謎が読者を待つ。

★問い合わせ先★

あわくら子ども図書館 西栗倉村影石33
こども図書館 TEL279-2116
教育委員会内図書係 TEL279-2216

開館時間：10:00～17:00
休館日：祝祭日、年末年始
1月の休みは1～5日と13日です。



育もう！わたしたちの森と村

もいもいづれす Vol.9

企画・編集 産業観光課百年の森林構想推進係 TEL0868-79-2111

「百年の森林事業」では間伐、作業道開設などの森林整備を進めていますが、豊富な資源量を持つ未利用木質バイオマスに注目が集まっています。しかしながらこれらの森林資源は林業の経済性などの問題から活用が容易ではなく、中山間地域の共通の課題となっています。

そこで12月14日（土）に「森林づくりから始まる持続可能な地域づくり」—木質バイオマスは地域を救うか—と題して岡山大学において公開シンポジウムを開催しました。バイオマス政策に精通したパネラー報告の後、パネルディスカッションがおこなわれ木質バイオマスのあり方について議論が行われました。当日は多くの方が参加され真剣な眼差しで聞き入っていました。



発表した内容の一部を紹介します。

現在本村では、林野庁及び環境省委託事業の「木質バイオマスを活用したモデル地域づくり推進事業」をうけ、我が国の中山間地における木質バイオマス活用のモデルケースづくりとして、西栗倉村と岡山大学・野村総研が共同で調査、検討を行っています。

現状の課題

- ・相当量の林地残材が発生（切捨間伐材、端尺材等）
- ・村内の木質バイオマス資源のうち、主となるのは、間伐材
- ・低コストで可能な限り集材し、化石燃料に代替して利用することでCO₂削減
- ・販売で得られた利益を地域に還元することで、地域活性化



村内では、森林整備で相当量の林地残材（切捨間伐材、端尺材等）が発生している。

検討内容

未利用間伐材の積極活用について

- ・切捨間伐エリアを最小限にする集材方法の検討
- ・造材基準の見直し・コスト削減
- ・林地残材の集材方法の検討
- ・周辺地域の木材流通の現状分析を行い資源の流出
- ・流入を予測する必要がある（西栗倉村周辺の鳥取県や兵庫県赤穂市では大型の木質バイオマス発電計画があり）

村内での木質バイオマスの有効活用について

- ・村内の温泉施設ボイラーの燃料転換
- ・公共施設等への熱電供給
- ・発電ボイラーの設置により電力提供を行うほか非常時電源として活用

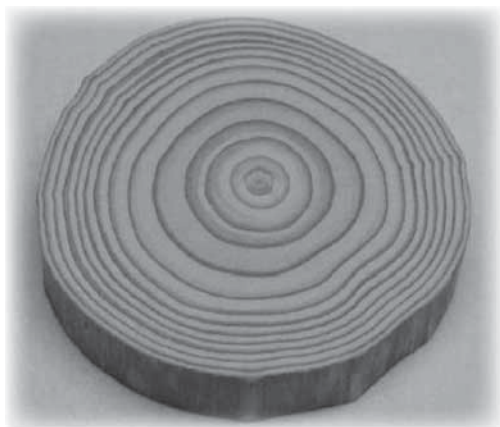
一口メモ

「バイオマス」とは、生物資源（bio）の量（mass）を表す言葉であり、「再生可能な、生物由来の有機性資源（化石燃料は除く）」のことを呼びます。そのなかで、木材からなるバイオマスのことを「木質バイオマス」と呼びます。木質バイオマスには、主に、樹木の伐採や造材のときに発生した枝、葉などの林地残材、製材工場などから発生する樹皮やのこ屑などのほか、住宅の解体材や街路樹の剪定枝などの種類があります。

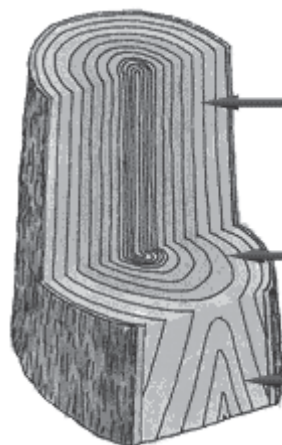
一口に木質バイオマスといっても、発生する場所（森林、市街地など）や状態（水分の量や異物の有無など）が異なるので、それぞれの特徴にあった利用を進めることが重要です。（林野庁 HP より抜粋）

「年輪」

平成26年は午（うま）年です。また1つ年を重ねます。人間が年を重ねる様に「木」も年を重ねて大きくなって行きます。「年輪」と呼ばれ切り株などの断面に見える円状の輪のことです。年輪について簡単に紹介します。



色の薄い部分：早材（春から夏にかけてできた部分）
色の濃い部分：晩材（夏から秋にかけてできた部分）
早材と晩材が交互に成長するので年輪には縞模様ができます。年輪とは早材と晩材の組み合わせで1年の成長が示されたものです。その木の林齢を調べる時は、色の濃い晩材を頼りに年輪を数えます。



年輪が平行にそろって見える（柾目）まさめ

年輪が輪のように見える（木口）こぐち

年輪が山のような模様に見える（板目）いため

木材を製材したときに現れる年輪の模様。柾目、板目などの呼び名があります。

林業でがんばる若手の「ワム

「間伐材と丸棒工場の関係」

美作東備森林組合 福島 祐輔



私は森林組合に就職して6年になります。主に原木を機械で削って丸棒にする作業を担当しています。私が丸棒工場で原木を加工して作っているものは、丸棒を使った安全柵などに使用する横木や杭木などです。他にも、作業道の排水に使用する木製横断溝なども製作しています。山から搬出した間伐材を円柱加工機で円柱状に削り、その材料（丸棒）を専用の機械でカットしたり、ドリル機で穴を開け、一連の加工を行って製品に仕立て、梱包し出荷まで行う、地味ですがやりがいのある仕事です。

丸棒を使った仕事以外にも、工事用看板や堰堤用型枠など角材を使った仕事もしています。最近では調査や選木の補助をするときもあります。調査で山を歩いてみても間伐遅れだなど思う場所は沢山あります。そこで山に作業道を入れて間伐を行い、山林の価値を高め、出てきた材は選木し、建築材として使えない細い木などはチップ材やその中でも良い原木は加工をして、丸棒工場で付加価値を付けて製品にします。

私はまだ丸棒を削る事や材料を切ったり、穴空けをする基本的な事しか出来ないですが、毎日勉強をして一人でも何ができるように技術を磨いて、良い製品が作れるように頑張っていきたいです。

編集後記

「バウムクーヘン」というお菓子は、木の年輪に似せて作られています。バウムは「木」、クーヘンは「お菓子」という意味です。今年も良い年でありますようにと願う初詣です。

ご意見・ご感想はこちら→西栗倉村役場産業観光課 0868-79-2111



まずは鳥取県立博物館へ！先生の説明に興味津々！！



砂丘を登ったり転がったり。服も靴も砂まみれに・・・。



恐竜の牙のするどさに感心・・・



砂丘の急傾斜(馬の背)をみんなではいあがりました



海岸に到達。波打ち際でおおはしゃぎ。靴が濡れてもへっちゃらです！



あわたん
ビーチフラッグ開催！
ゴールに一番のりだ！！

博物館＆鳥取砂丘へ出かけよう
あわくら
たんけんクラブ
今回の探検クラブは西粟倉を飛び出して鳥取へ出かけ、県立博物館と砂丘を探検しました。子どもたちは博物館のいろんな化石や標本に興味しんしん！砂丘では寒さも気にせず大はしゃぎ！西粟倉ではなかなか出来ない体験をしっかりと満喫できた旅でした。

募集 「クッキングパーティ」 in みまさか

～出会いの春！料理で婚活！新たな恋の始まり～
独身男女に出会いを提供するとともに、恋愛、結婚に向けたきっかけづくりの場としてもらうため、下記の内容で婚活イベントを開催します。今回は、会話も弾むクッキングにチャレンジです。共同作業を通じランチビュッフェに向けた簡単で楽しいクッキングパーティに参加しませんか？

開催日時：平成 26 年 3 月 9 日（日）

午前 10 時 30 分から午後 3 時まで

開催場所：美作市作東農村環境改善センター（作東総合支所東側）

参加資格：出会いを求めている独身の男性及び女性

男性：30 歳～ 40 歳まで

女性：25 歳～ 40 歳まで の方

参加費：男性 2,500 円、女性 2,000 円

申込期間：平成 25 年 12 月 26 日（木）～

平成 26 年 2 月 19 日（水）

主 催：美作市 共催：西粟倉村

受託業者：有限会社チアーズ

申込方法：専用サイト（下記参照）にアクセスし、申込フォームに従って手続きをしてください。

申込・問い合わせ先

「クッキングパーティ in みまさか」事務局（有）チアーズ

電話 086-461-0506 FAX 078-330-0039

URL <http://cheer-s.com/140309>

問い合わせ先：美作市協働企画課 電話 72-6631

募集 予備自衛官補

●概要

- ・予備自衛官補は、普段はそれぞれの職業に従事しながら、訓練招集により出頭し、教育訓練を行います。

●募集種目

- ・予備自衛官補（一般公募及び技能公募）

●受付期間

- ・平成 26 年 1 月上旬～ 4 月上旬まで

●試験日

- ・試験場、受付番号等は別途、各人に通知します。

●応募資格

- ・一般公募

平成 26 年 7 月 1 日現在で、18 歳以上 34 歳未満の方

- ・技能公募（医療従事者、語学、車両整備士等）

平成 26 年 7 月 1 日現在で、18 歳以上で保有する技能（国家資格）に応じ 53 歳～ 55 歳未満

●お問合せ

自衛隊岡山地方協力本部津山出張所

電話（0868-22-5637）

おしえて **ね ん き ん**

老齢厚生年金の裁定請求について

年金は、年金を受ける資格ができたとき自動的に支給が始まるものではありません。ご自身で年金を受けるための手続き（年金請求）を行う必要があります。

◇ 61 歳（60 歳）になったとき

男性（昭和 28 年 4 月 2 日～昭和 30 年 4 月 1 日生まれの方）は 61 歳・女性は 60 歳到達時に特別支給（※）の老齢厚生年金の受給権が発生する方に対し、受給権が発生する 3 ヶ月前に、基礎年金番号、氏名、生年月日、性別、住所及び年金加入記録をあらかじめ印字した「年金請求書（事前送付用）」及びリーフレット（「年金を請求されるみなさまへ」）を、日本年金機構からご本人あてに送付します。

60 歳到達時に年金を受けるために必要な加入期間はあるものの厚生年金期間が 1 年未満など、65 歳で受給権が発生する方には、年金請求書に代えて「年金に関するお知らせ（ハガキ）老齢年金のお知らせ」を送付します。

※ 平成 12 年の法律改正により、特別支給の老齢厚生年金の受給開始年齢が男性は平成 25 年度から平成 37 年度、女性は平成 30 年度から平成 42 年度にかけて、段階的に 60 歳から 65 歳まで引上げられます。この支給開始年齢の引上げに伴い、60 歳台前半における老齢厚生年金の繰上げ請求ができることとなりました。

◇ 65 歳になったとき

特別支給の老齢厚生年金を受給している方

特別支給の老齢厚生年金に代わり、新たに老齢基礎年金と老齢厚生年金を受けることになります。この場合は「年金請求書（国民年金・厚生年金保険老齢給付）」（ハガキ）の提出が必要です。

1. 届書の提出時期

65 歳到達月の初め頃（1 日生まれの方は前月の初め頃）に、日本年金機構から「年金請求書」をお送りしますので、末日までに日本年金機構本部まで必ずご提出ください。

2. 繰下げについて

老齢基礎年金・老齢厚生年金を 66 歳以後に繰下げて受け取ることもできます。老齢基礎年金・老齢厚生年金のどちらか一方のみを繰下げ希望のときは、「年金請求書」の「老齢基礎年金のみ繰下げ希望」又は「老齢厚生年金のみ繰下げ希望」のどちらかに○をつけてください。また、両方を繰下げ希望のときは「年金請求書」をご提出いただく必要はありません。

厚生年金加入期間が 1 年未満の方

65 歳到達する 3 ヶ月前に、基礎年金番号、氏名、生年月日、性別、住所及び年金加入記録をあらかじめ印字した「年金請求書（事前送付用）」及びリーフレット（「年金を請求されるみなさまへ」）を、日本年金機構からご本人あてに送付します。

★☆☆請求書等の提出について

受付は、受給権が発生する満年齢になってからです。戸籍・住民票などは、受給権発生日以降に交付されたもので、かつ、年金請求書の提出日において 6 ヶ月以内に交付されたものをご用意ください。受給権発生日前に提出された場合は受付できませんので、ご注意ください。提出先は、年金事務所になります。

☆ 詳しくは、津山年金事務所（TEL.0868-31-2365）までお問い合わせください。

西栗倉での体験を俳句に 「岡山市長賞」受賞

毎年、岡山市中央中学校の生徒のみなさんが西栗倉村に宿泊農家研修に来ています。今年も 5 月に 100 名の生徒が村内の農家さんをはじめとする 17 名の村民のみなさんと農作業などして交流を行いました。

このたび岡山市民の優れた文学作品をたたえる「岡山市民の文芸」の入賞が発表され、「市長賞」にそのときの思い出や感じたことを表現した作品が受賞されました。

このことは、新聞記事にも掲載され、西栗倉村の豊かな自然と人との関わりを広く PR していただくことにもなりました。また、入賞作品には多くの西栗倉で体験した詩や短歌、川柳が数多く入賞しました。

ここに受賞作品の一部を紹介するとともに、より西栗倉の魅力を感じていただければと思います。

「岡山市長賞」

・カエルが目 西栗倉の 森の色

柴岡亜実（岡山中央中 2 年）

その他入賞作品

（短歌）

・栗倉の人と自然のやさしさは
ずっと心に 初夏の思い出

・栗倉の 山に入りて立ち止まる
静けさの中 水の声響く

難波寛子
石堂治人



地域福祉推進のために……

社協だより

西栗倉村社会福祉協議会	
	279-2561
ゆうゆうハウス	279-2861
ひだまり	279-2100

新年あけまして おめでとう ございます



(社会福祉協議会・ゆうゆうハウス職員)



(小規模多機能型ホーム ひだまり職員)

今年も職員一同 地域の皆様と一緒に頑張って参ります。 どうぞよろしくお願い致します。

社会福祉協議会職員 一同



《社協の事業内容について》

- 社会福祉協議会の事業・高齢者及び身障者への支援を始め、高齢者生きがい対策事業・善意の窓口など福祉業務を積極的に行っていきます。
- 地域福祉活動事業・今年も『いきいきと元気で暮らせる地域を目指して』を目標に頑張っていきます。主に、地区サロン活動の推進・ボランティア活動の推進・地域支え合いネットワークの推進よりみちの活性化などの事業に力を入れていきます。
- 居宅介護事業【ゆうゆうハウス・小規模多機能ホームひだまり・訪問介護】
 ……住み慣れた地域での生活を支えるため、要支援・要介護者にあるご本人及びご家族の依頼により利用者の心身の状態と本人の希望に応じてサービスを提供することで、『在宅での生活が継続できるように支援する』施設です。今後も、皆様に満足して頂けるように介護の質と向上を図っていきます。

☆☆『社協会費』の報告 ☆☆

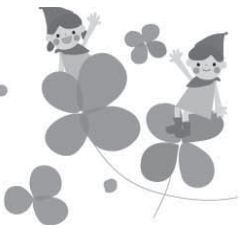
「社協会費」のご協力ありがとうございました。

平成25年度は、403人の会員の皆さんと、9の団体から総額480,500円の会費の納入をいただきました。納入頂きました会費は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる福祉活動事業等への貴重な財源となっております。今後も、みんなで支え合う地域福祉活動の実現に向けて努力してまいりますので、ご理解とご協力を頂きますようよろしくお願い致します。

社会福祉協議会とは……

諸問題を地域社会の計画的・協働的努力によって解決しようとする公共性・公益性の高い民間非営利団体で、住民が安心して暮らせる福祉コミュニティづくりと地域福祉の推進を使命とする組織です。

社会福祉法では「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と規定しています。



人

の動き

平成 25 年 12 月 1 日現在

- 人口 1, 5 3 7 人 (－2)
- 男 7 1 3 人 (±0)
- 女 8 2 4 人 (－2)

(11 月中の異動：出生 1 人、死亡 1、転入 1 人、転出 3 人)

- 世帯 5 6 0 戸 (－1)

●幸せ多い人生を

- ・小林 祐太 (猪之部)
- (西山) 美香 (勝央町)

●お悔やみ申し上げます

- ・大上 よ志子さん (塩谷) 11 月 23 日 89 歳
- ・佐藤 千佐子さん (坂根) 12 月 7 日 70 歳

善

意の窓

社会福祉協議会から

(平成 25 年 11 月 19 日～平成 25 年 12 月 16 日)

●おめでとうございます

猪之部 小林 則男 様 長男祐太様 結婚内祝

●お大事にしてください

坂 根 草刈 豊子様 本人 退院内祝

中土居 白岩 久男様 本人 退院内祝

大 茅 宮崎 善夫様 母 喜美枝様 退院内祝

●お悔やみ申し上げます

坂 根 佐藤 理 様 母 千佐子様 香典返し

入

札情報

(平成 25 年 12 月 19 日まで)

※入札金額 120 万円以上を掲載しています。

発注課	建設課	建設課	建設課	建設課
事業名	平成 24 年度明許繰越 筏津橋補修工事	平成 24 年度明許繰越 前田井堰改良工事	平成 24 年度明許繰越 塩谷水路改良工事	平成 24 年度明許繰越 景清水路改良工事
施工場所	筏津地内	大茅地内	影石地内	影石地内
落札業者名	(有) 森下建測	大茅土建 (有)	(有) 森下建測	平田工業 (有)
落札金額 (税込)	4,620,000 円	12,180,000 円	4,935,000 円	2,488,500 円

川柳 栗の実

12 月の句会から

おもてなしやっぱりお金要るらしい

暖房に電気と灯油使い分け

ランドセル親の望みが重たすぎ

二〇二〇東京五輪は見るつもり

八十路暮れ身嗜みに薄化粧

薄化粧老いの流れを一寸止め

顔よりも心の化粧望みたい

菊の花終わりを告げて秋が行く

日暮れ時鹿が出て来て怯かす

晴れの国冬將軍も温和しい

味噌汁に団子を一つ入れてみる

女です素顔見せない薄化粧

満天星から

日本も傲慢だった頃もあり

カサカサの手にもクリームつけてやる

ウォーキング今朝はコースをかえてみる

クリスマスサンタの土産待つひ孫

同窓の忘年会で元気づく

木枯らしが顔撫でて行き年の暮れ

天高く航空会社値引きする

望郷の火野正平のこころ旅

花も葉も落とした庭を掃いている

謹んで新年のお祝いを申し上げます。

今年も「川柳栗の実」よろしく願います。

平成二十六年元旦

【お詫び】 広報十一月号本欄の川柳

誤「鈍行に乗り変えました七十時

正「鈍行に乗り変えました七十路

お詫びして訂正します。

◎1 月初旬会のご案内

1 月 17 日 (金)、午後一時三十分から

課題「自由吟」に於いて開催します

「自由吟」 日出夫 選

「目出度」 吉男 選

「一月」 照子 選

「杯」 幸雄 選



発信
ひろがる
なかま

「西栗倉村郷土史探訪クラブ」
・「古文書に親しむ会」
合同研修を行いました



平成24年4月に発
足した「西栗倉村郷土
史探訪クラブ」は、念
願の研修旅行を「古文
書に親しむ会」のご協
力を得て、平成25年
10月25日に合同で
行いました。

参加者は19名で、
生野銀山、銀山手前の
口銀谷町をガイドさんの案内により堪能する
ことができました。

大茅地区などは1800年頃には生野代官所
の支配下にあり、「大茅古文書」には生野銀山
の水抜き工事の費用の捻出のため、田を担保に
して借金した記録が残っています。西栗倉の歴
史を紐解くと、「生野」とは大きなつながりが
あります。このつながりをガイドさんにも伝え、
銀山2時間、口銀谷町2時間の詳しい案内をし
て頂き、とても有意義な研修となりました。

「歴史探訪クラブ」では、座学として竹山城
主であった新免家の「新免家古書写し」を昨年
以来、小松英夫先生より学んでいます。発祥の
地「栗井」から始まり、現在は滅亡より100
年前の1500年位の所まですすみ、西栗倉の
関係も登場して来ています。

次の世代に歴史の継承を行うため、興味のある
方はぜひ一緒に活動しませんか？お待ちしております。

(郷土史探訪クラブ
代表 井上義徳)



※1 休日急患医（美作市医師会）は、11月27日現在の予
定です。
利用にあたっては医療機関に必ずご確認ください。

※2 納付期限にご注意いただき納付をお願いします。口座
振替の方は、残高確認をお願いします。

月 日	行 事 等	休日急患医※1	ごみの日
1月 1日	水 元旦	原田医院	
2日	木	美作中央病院	
3日	金	青山医院	
4日	土		
5日	日	作東診療所	
6日	月		
7日	火 幼、小、中 3学期始業式		かん類
8日	水		
9日	木		可燃ごみ
10日	金		古紙類
11日	土		
12日	日	金澤外科医院	
13日	月 成人の日	福井医院	
14日	火		資源ごみ
15日	水		
16日	木 〃のびのび子育て相談 / いきいきふれあいセンター 10:00～16:00 〃年金相談 / 大原公民館 10:00～15:00		可燃ごみ
17日	金 〃あわくら大学 / 大ホール 10:00～11:30		
18日	土		
19日	日	原医院	
20日	月		
21日	火		びん類
22日	水		
23日	木		可燃ごみ
24日	金		
25日	土		
26日	日	大原病院	
27日	月		
28日	火 〃のびのび子育て相談 / いきいきふれあいセンター 10:00～16:00		資源ごみ
29日	水		
30日	木		可燃ごみ
31日	金 納付期限 〃個人村県民税第4期 〃国保税第8期		
2月 1日	土		
2日	日	未定	
3日	月		
4日	火		かん類
5日	水		
6日	木		可燃ごみ
7日	金		古紙類